



株式会社

ドン・キホーテ
Don Quijote Co., Ltd.

ひと目でわかる

2013年6月期 本決算

企業価値を拡大し24期連続増収営業増益を達成

生活必需品の価格競争が根深く残る状況下において、顧客心理をとらえた最適なセールスマックスを構成。プライベートブランド商品や高付加価値商品の販売促進に

よる収益力強化の一方で、在庫回転率も向上させて経営効率を高めることに成功しました。バリエーションに富んだ出店形態で16店舗を出店し、ドン・キホーテ1号店創業以来、24期連続増収営業増益を達成し、過去最高益を更新しました。

売上高

5,684
億円

生活必需品はボリュームと価格で、ライフスタイル型商品は品揃えと品質で訴求。絶妙なセールスマックスで競争優位性を保ちながら顧客リピート率を高めたことなどにより、売上高は5,684億円(前期比5.2%増)となりました。

営業利益

324
億円

商品在庫を抑制しながらセールスマックスの改善や値入の工夫、PB商品拡充などで利益率改善に注力。新規出店やLED切り換え費用などの販管費増を、売上総利益増加額以下にコントロールしたことから、営業利益は324億円(同10.4%増)と大幅増益を達成しました。

経常利益

332
億円

営業増益に加えて、営業外費用が同9.4億円の減少などにより、営業外収支戻が8.3億円のプラス(前期は0.4億円のマイナス)になったことから、経常利益は332億円(同13.4%増)となり、大幅増益を達成しました。

当期純利益

211
億円

特別損益戻が1.8億円のプラスになったことから、税金等調整前純利益が334億円となる一方で、法人税等113億円、少数株主利益9億円の控除により、当期純利益は211億円(同6.5%増)と過去最高益を更新しました。

総資産

3,866
億円

新規出店16店を中心とした棚卸資産24億円増に加え、出店に伴う土地などの有形固定資産168億円増及びのれんなどの無形固定資産17億円増により、総資産は3,866億円(前期末比240億円増)となりました。

純資産

1,702
億円

利益剰余金の積み増しなどにより、純資産は1,702億円(前期末比245億円増)となりました。なお、自己資本比率は43.0%(同3.5pt改善)、DEレシオは0.74倍(同0.17pt改善)となり、企業財務の質的改善が着実に進んでおります。

EPS

273.47
円

1株当たり当期純利益(EPS)は、273.47円(同16円増、6.2%増)となり、08年6月期(130.78円)からの5年間で、2倍の水準になりました。

ROE

13.7
%

自己資本当期純利益率(ROE)は13.7%(同1.2pt減)となりました。

お買上客数

2億4466
万人

当社グループ各店舗をご利用いただきましたお客さま(レジ通過客数)は、2億4,466万人(同1,169万人増)となりました。

店舗数

255
店舗

新規出店はドン・キホーテ7店、MEGA8店、驚安堂1店の合計16店舗を数え、沖縄県・山形県及び福井県に初進出。グループ全体の店舗数は国内43都道府県252店舗、米国ハワイ州の3店舗を含めると255店舗となりました。

売場面積

719,695
㎡

2013年6月末時点の売場面積は、16店の新規出店などにより、前期末と比較して35,295㎡増加し、719,695㎡(同5.2%増)となりました。

年間配当金

33.00
円

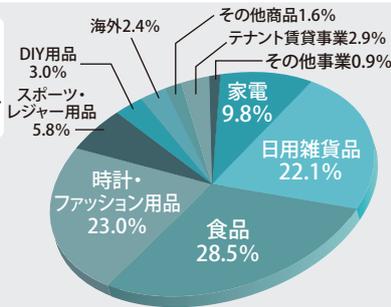
中間配当(10円)を含めた年間配当金は、前期の1株当たり31円から2円増配した33円となり、10期連続の増配を実施しております。なお、配当金総額については、上場以来、16期連続の増額を継続しています。

商品点数

13億8830
万点

当社グループが当期間にお客さまの手元にお届けした商品点数は13億8,830万点(国内のみ)となりました。

商品分類別売上高構成比



外国人持株比率

64.6
%

外国人株主の保有比率は64.6%と同8.5pt上昇しました。当社ビジネスの独創性と革新性に対する評価がますます高まり、国内上場企業中14位に相当する高い水準になりました。なお、株主数は前期末に比べて446名減少し3,518名となりました。

株主分類別持株数構成比

